

日本の外国人労働者の受入れ —その制度と実態—

日本で働く外国人労働者は140万人を超える。一方で、外国人労働者をめぐる法令違反や社会問題も多発。外国人労働者受け入れの制度と実態は、どうなっているのか。どのような制度改革が必要なのか。外国人労働者との共生をめざして、専門家と実務家が徹底討論する。

2019年11月9日 **土** (14時10分開場)

14:30~17:30

場所 キャンパスプラザ京都第**4**講義室

URL: <http://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto>

TEL:075-353-9111、JR京都駅から徒歩5分

基調 報告

「外国人労働者政策の展開と
2018年入管法改正の歴史的意味」

明石純一（筑波大学）

「外国人労働者の受け入れと活用における
現状と課題—その制度と矛盾—」

守屋貴司（立命館大学）

討論

基調報告者を交えたパネルディスカッション

岩佐和幸（高知大学）

近藤健児（中京大学）

村井広宣（株式会社プログレスト／関西
留学生国際交流支援連絡会）

**入場無料
参加予約不要**

（どなたでも
ご参加いただけます）

お問合せ: 大阪市立大学・高橋(nobuhiro@bus.osaka-cu.ac.jp)

主催: 日本国際経済学会関西支部/後援 一般財団法人 アジア太平洋研究所 (APIR)